



# CBC NEWS

—中央聖書神学校—

2016年10月号

言うまでもなく、私は中央聖書神学校で勉強したわけではない。私の母校は米国アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団属サウスイースタン大学である。卒業から十五年以上経ったが、正直に言うと、学んだ内容や教科はそんなに覚えていない。大学で学ぶ最も大切なことは、ある事柄をどう勉強したら良いか、どう研究したら良いかということであり、もちろんそれはしっかりと覚えている。けれども、神学校で一番恵まれたことは、学んだ知識というよりも、実は見習うことができた人であった。それぞれの教科を担当した教授たちの思いは、今も心の中に生き生きと残っている。女性でも男性でも、彼らの立派な模範は、私にとって忘れられないものとなった。牧会しながら勤めていた教授もいたが、常勤の教授が大半だった。何れにしても、教授たちの実に様々な経験から学んだ



生の一人一人が、主がここに置かれた教師たちと今強い絆で結ばれた信頼関係を築けるよう、また将来自分に委ねられた最高の奉仕のために整えられるよう、覚えてお祈りしたい。

奉仕の準備を受けるためにやって来た神学生の一一人が、主がここに置かれた教師たちと今強い絆で結ばれた信頼関係を築けるよう、また将来自分に委ねられた最高の奉仕のために整えられるよう、覚えてお祈りしたい。

東京シティーチャーチ協力宣教師  
中央聖書神学校理事  
アレックス・ハンフリーズ

## 息吹 Vol.52



## 静心

二年 中山 雄

信仰とは何であろうか。簡潔な言葉で説明するならば、それは信じる心である。

聖書によると、信仰とは神に喜ばれるものであり、望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものであると記されている。この信仰によって百人隊長はイエスを驚かせ、カナンの女性は「あなたの信仰は立派です(ルカ七章五〇節)」とイエス様にほめられたのである。

では、自分の信仰はどうであろうか。私は神学校に入学して以来、困難を通して「自分がどれだけ神様を信じ、信頼しているのか」と自分の信仰を問われる経験を何度もした。そして、その経験の中で自分の無力さを痛感し、神様の他に頼り得るものは無いことを再確認したのである。

時として、自分の信仰は危機的状況の中で明らかにされ、神様の御業を体験することによって増し加えられる。そして、試練と恵みを通して人は信仰をより強固にしていくのである。信仰の創始者であり、完成者であるイエス様から目を離さず、最後まで信仰者として歩みたい。

## 神学校スケジュール

|           |                     |
|-----------|---------------------|
| 【秋期】      |                     |
| 学期        | 9月12日(月)～11月12日(土)  |
| 伝道週間②     | 11月21日(月)～11月26日(土) |
| CBCフェスタ   | 11月23日(水・祝)         |
| 第4ブロック    | 11月29日(火)～12月9日(金)  |
| 伝道週間③     | 12月12日(月)～12月17日(土) |
| 【冬期】      |                     |
| 実習        | 12月18日(日)～1月13日(金)  |
| 第5ブロック    | 1月17日(火)～1月27日(金)   |
| 第6ブロック    | 1月31日(火)～2月10日(金)   |
| 通信科スクーリング | 2月13日(月)～2月18日(土)   |
| 第7ブロック    | 2月14日(火)～2月24日(金)   |
| 卒業式       | 3月7日(火)             |
| 学生キャラバン   | 3月11日(土)～3月20日(月)   |

## 神学校入試日程

|         |      |                |
|---------|------|----------------|
| 早期入学試験  | 締め切り | 2016年10月25日(火) |
|         | 試験日  | 2016年11月8日(火)  |
| 本科入学試験  | 締め切り | 2017年1月31日(火)  |
|         | 試験日  | 2017年2月14日(火)  |
| 通信科入学試験 | 締め切り | 2017年2月20日(月)  |
|         | 試験日  | 2017年3月4日(土)   |

## 編集後記

CBCニュースをお読みいただきありがとうございます。CBCニュースがA4版になってから4回目の発行となりました。毎回、広報部員で試行錯誤を繰り返しながら、中央聖書神学校の様子を皆様にご紹介させていただくためにはどうしたらよいのか考えて制作しています。サイズが大きくなった分、載せられる記事も増え、読み応えのあるものとなってきていると思います。これからも、神学校の様子をいつもお祈りして下さる全国の教会の皆様にお伝えできるよう工夫していきたいと思っています。

次号も楽しみにお待ちください!

広報部 田辺 良実



今年もCBCフェスタを開催します!

信徒聖書学校、各種ブース出店、CBC聖会と内容も充実しています。詳しくは別紙チラシを参照下さい。どなたでも参加できます!

## CBC HP リニューアル!

中央聖書神学校ホームページがリニューアルしました!!

トップページでブログやFacebook も見ることができ、CBCの最近の様子や情報をすぐにチェックすることができます。ぜひ一度ご覧下さい。

2016年5月号の訂正 P.8 一般献金  
広島紙愛キリスト教会→広島神愛キリスト教会

## CBCNEWS

—2016年10月号—

### 広報部

比嘉 真奈美 田辺 良実  
孟 一博 上本 亮  
林 賛美 中山 満  
須田 デイビット ススム  
編集責任者: 安田 眞  
事務局: 中央聖書神学校

# 夏期派遣

## 八王子基督教教会

一年 須田 デイビット ススム

主の御名を賛美します。

不安ばかりの心で、入学してはじめての長期派遣へ出発しました。東京都八王子市にある八王子基督教教会へ向かい、和田佳士先生、実樹子先生のもとで約一ヶ月お世話になりました。生まれて初めて教会に約一ヶ月間寝泊まりをしながら、八王子基督教教会のスタッフ、信徒の方々に本当にお世話になりました。多くのことを学ぶことができ、感謝します。

この長期派遣での一番の思い出は、西部地区ジュニアキャンプです。ユースとスタッフを合わせて約一八〇人の方が参加しました。私もスタッフとして参加して、子どもたちよりも楽しめたかもしれせん。西部地区ジュニアキャンプに参加できたことを、心から主に感謝します。



毎週火曜日には、火曜礼拝という日曜礼拝に参加できない方々のための礼拝があります。そこで和田先生がどれだけ信徒一人ひとりを大切にしているかを、知ることができました。

また、毎週水曜日に、子ども向けの集会があります。午前は、未信者のお母さんたちが子どもを教会に連れてきます。お母さん同士でお話をしたり、御言葉を聞いたりします。また午後からは、教会の周りの小学校の学生たちは放課後教会に集まり、遊んで、御言葉を聞き、お菓子を食べたりします。私もよく水曜日に、スタッフとして子どもたちと一緒に過ごしました。

本当に主に恵まれた一ヶ月となりました。和田先生、実樹子先生、スタッフ、信徒の方々が私を見守り、受け入れてくださったことを感謝します。この大切な体験を一生忘れられることなく、この神学校を卒業し、牧会に出た時に生かしていきたいです。この大切な体験を私にくださった主に感謝を致します。

## アガペー三田キリスト教会

一年 ミヤザケ エルビトン  
マサユキ ソウザ

ハレルヤ、主に感謝します。

アガペー三田キリスト教会で派遣されました。七月一七日から八月一七日まで安東聖樹先生とご家族にお世話になりました。

神様の恵みをたくさんいただきました。私はいくつかのキャンプに参加しましたが、その中のひとつが、関西中高生キャンプでした。多くの若者たちが神様の前で賛美し、献身者も現れました。その若者たちも神学校に入学することができるよう、祈ります。

「主は私の力、私の盾。私の心は主に拠り頼み、私は助けられた。それゆえ私の心はおどろいて喜び、私は歌をもって、主に感謝しよう。」(詩篇一八篇八節) アガペー三田キリスト教会の人々は、とても明るくて信仰熱心なクリスチャンです。三田市において神様の恵みが豊かにありますように。



私は様々な奉仕をしました。ペンキ塗りが、その一つでした。オープンチャーチのために、床のペンキ塗りしました。オープンチャーチとは、近所の方に教会に来てもらい、教会の二階から花火を見ながらクリスチャンの愛を感じてもらおうイベントでした。

イングリッシュキャンプもありました。英語を通して福音を宣べ伝える。子どもたちのモンキードンスを見て、私も元気をもらいました。

他にもいくつかの教会で奉仕をしました。平松若樹先生が遣わされている鳴尾純福音伝道所においても奉仕することができ、感謝します。関西教会の先生方に感謝します。すべての栄光、神様に捧げます。

アガペー三田キリスト教会の安東先生とご家族に、信徒の方々に神様の祝福がありますように。また私を見守ってください、受け入れてくださったことを、心から感謝します。

## 駿河キリスト教会

一年 林 賛美

「今の私なら！」と、一年半神学校で学んだことを生かしたいと期待と自信を持って寮を出発しました。派遣された場所は、静岡県にある駿河キリスト教会。太陽の光が照りつける中、暑い夏の一ヶ月をここで過ごしました。教会で寝泊りし、牧師館にお邪魔させていただきました。初めて訪れた知らない土地で、「自分がこの街で牧会をするとしたら」と想像しながら、トラクトを配りました。

寮を離れ、共に学ぶ神学生たちと離れて生活してみると、自分がどれだけ学生であるということに甘んじていたのだろうかと感じました。一日が礼拝で始まり、聖書の学びをし、仲間と協力し合って奉仕をし、祈り合うことが当たり前の生活。そのことに感謝することはありませんでした。「もし私が一人で牧師として遣わされたとしたら」と考えれば考えるほど、多くの不安が襲って来ました。

「今の私なら！」という高慢な態度はあつという間に打たれ、「今の私になんか」と自信をなくしてしまつたのです。振り子のように揺れる自分の心に気付き、自分の幼さと信仰の薄さのために神様を見上げるのが怖いと感じるほどでした。与えられた奉仕の中に、証やメッセージがありました。聞いてくださる信徒の方々の中には、私の何倍も生きて、信仰



生活も私が生きてきた年数よりも長い大先輩方がいらつしやいました。メッセージのために祈って備えようとする時、「今の私が何か言つたって、説得力ない」とまた落ち込んでいました。しかし、「まだ若い、と言ふな。わたしがあなたを遣わすどんな所へでも行き、わたしがあなたに命じるすべての事を語れ。」(エレミヤ書一章七節) というみことばが何度も私の心に響きました。私のことばに説得力はないけれど、神が命じてくださることだから「まだ若い」と言うのはやめようと決心しました。

「今の私なら！」などと思つていたことに心から恥を感じています。しかし、自分の無力さを感じている「今の私なら！」、神に信頼し、身を委ね、従う力が与えられると信じます。

励まして指導してくださった先生方と、温かい目で見守り、受け入れてくださった信徒の方々に感謝いたします。そして、一ヶ月間私を鍛え、共にいてくださった神を心から賛美致します。

## 沖縄教区巡回

一年 上本 亮

主の御名を賛美します。

私は今年の夏、沖縄教区巡回に派遣されました。沖縄にあるアッセンブリー教団の七つの教会で奉仕させていただきました。神様はこの巡回を通して私を訓練して下さい、また恵みを与えて下さいました。礼拝の説教やキャンプを始め、実際の牧会の現場での奉仕はとても忙しく、大変なものでした。しかし、それ以上に喜びを持って奉仕することができたことが一番の恵みでした。訪れる教会の先方で信徒の方々が「いつも祈っています」という温かい言葉をかけて下さったことで、私たち神学生はこんなにも愛され、応援されていて祈られている。このことを実感として改めて理解することができたことは私にとって大きな励みでした。この派遣を通して神様は私に出会うべく人と出合わせ、人間的にも神学生としても大きく成長させて下さいました。

いつも応援して下さいる皆様には何かお返しをしたい。それだけを考え、祈った時に与えられた答えは、神様に、人に忠実に仕え、祈り、そして共におられる主を皆で一緒に礼拝することでした。派遣では自分にできることをただ一生懸命に行っていました。上手くできなかったなと思うことや失敗もありましたが、神様はそれを益と変えて下さいました。



私にとって初めての沖縄。初めての巡回派遣など、とにかく初めてのことはかりで沖縄に派遣される前は「自分にできるのだろうか」と不安でした。ですが沖縄で過ごすうちにそのような気持ちは全て感謝と喜びへと変えられていきました。

「自分にもできることがある。神様のことを伝えることができる」神様は私にこのことを教えるために今夏、沖縄教区に遣わしたのだと理解することができました。神様が私を通して生きたみことばを語らせ、それが励ましとなり、力を与える。悩んでいた私自身の召しを再確認させ、これから生きていく中で自分に与えられた使命がどれだけ重く、また尊いものであるかを学びました。派遣でないと学べないことを数多く経験することができ、貴重な体験をさせてくださいました。神に仕える者として相応しく歩み、多くの人に神様の与える希望を伝える者となっていきたいです。神様の導きに感謝します。

## 第一回 伝道週間の恵み

伝道週間とは、関東圏内の施設や教会を訪問し、現場での伝道実践を通して伝道の実感を学ぶものです。第一回は、七月二二(月)から二四(木)に行われ、一日目に清瀬市にある救世軍清瀬病院を訪問し、奉仕させていただきました。翌日より三日間、三チームに分かれて下記の三教会で奉仕させていただきました。各グループより伝道週間の恵みを報告させていただきます。

### 救世軍清瀬病院

二年 田中 寛子

伝道週間の一日目、救世軍清瀬病院を訪問しました。キリスト教の愛と奉仕の精神に基づいた病院です。

午前中は救世軍清瀬病院と救世軍恵泉ホーム(特別養護老人ホーム)の概要説明、車椅子の講義を受け、午後からは自省館(アルコール依存症者支援施設)の概要説明、「アルコール依存症について」の講義を受けました。その後二チームに分かれ、賛美歌を歌ったり、短いメッセージをしたりして、奉仕をしました。中には涙を流して喜んで下さる方もおられ、共に恵みを受ける素晴らしい時となりました。高齢化が急速に進むこの時代、これからの福祉と教会の在り方を考えさせられる機会となりました。

### 多摩ヒルサイドチャーチ

一年 中山 満



私たちのチームは、多摩ヒルサイドチャーチを訪れ、奉仕と学びの時を過ごしました。峯岸邦子先生が牧会されている教会で、今年の五月に献堂されたばかりの素敵な教会でした。私たちは、定例集会での証とメッセージの奉仕をさせていただきました。一三日に伝道集会を企画させていただきました。教会の近くに二つの大学があるため、主に大学生を対象にフードミニストリーを展開することにしました。チラシの戸別・路傍配布やキャンパス内での学生交流、プレイヤーウォーク等を行い、当日近くの大学から新来者が来会されました。伝道の実験を経験し、恵みも味わうことができ、このような機会を与えてくださった主に感謝します。全ての栄光を主に帰し致します。

### 藤沢オリブチャペル

一年 鳥居 史臣

主の御名を賛美します。

今回、伝道週間において藤沢オリブチャペルで奉仕させて頂きました。毎日、様々な奉仕を経験させて頂き、充実した伝道週間になりました。主な奉仕内容は、近隣の小学校でのトラクト配布や特別伝道集会・家庭集会での奉仕、爆発伝道研修の参加、キッズプラウンの見学がありました。私は、家庭集会でメッセージの奉仕をさせて頂きましたが、初めての経験で終始緊張しました。しかし、神学生のメンバーやたくさんの方々によって頂いたので、神様の助けによって無事にメッセージを語ることができました。

### 八王子基督教会

二年 孟 一博



私たちは、八王子基督教会にて奉仕させていただきました。良い訓練と学びの時間を過ごしました。斬新なプログラムに新しい参加者、すべてが新鮮でした。教会の集会の参加や、作業などだけではなく、デイサービスの施設の訪問や教会の方々が経営するクリニックの見学などもあり、充実した時間となりました。また、今回は多国籍の神学生がいるため、特色を生かし中国料理とブラジル料理を作り、教会の皆さんと楽しく交わることができました。

神学生は神学校にいる時だけではなく、どこに置かれても主の光を輝かせる必要があるのだと、今回の伝道週間で深く感じました。栄光を主に帰します。

## CBCサンデー

三年 中川 恵理也

この度のCBCサンデーは、東松島アメイジンググレイスセンター、仙台グレースチャペルを訪問し、めぐみ福音キリスト教会の三宅規之先生引率の下、私たち神学生五名は数多くの「めぐみ」を体験することが出来たことを感謝しています。

東松島アメイジングセンター。とても美しく、温かい雰囲気を感じました。祈りの上に建てられた会堂です。感動を禁じ得ませんでした。震災当時のお話を聞きました。話を聞きつつ、当時の状況を思い巡らしながら建物を私は眺めていました。自然と神様が豊かに用意下さる様という祈りが、涙と共に溢れたのを思い出します。



東松島アメイジングセンターから一時間ほど運転し、仙台グレースチャペルに到着しました。ここでは証しや特別賛美の奉仕をさせて頂きました。何より、言い尽くせないほどのたくさんの歓迎をして頂き感謝に堪えません。お食事会に宿泊、フラダンスに卓球大会、どれも忘れられないひと時でした。三宅先生が日曜礼拝で語ってくださった「向こう岸へ踏み出していく信仰」というチャレンジと、仙台の皆さんの熱い愛に思いを巡らした時、神学生としての一歩を私が踏み出したその背景に、どれほど多くの方々の祈りがたのだろうかと考えさせられました。私は未熟な者です。そんな私達の事を祈り支え、励ましてくださる兄弟姉妹がられる事をこのような機会に今一度思い返すとき、自らの務めに忠実でありたいと身の引き締まる思いがしました。小さな自分に注がれる大きな神の憐れみ。おどろくばかりの「めぐみ」なりき。



### 関東南西教区

## 甲信ブロック聖会

一年 川上 哲司

今回は私を含めた三名の神学生と北野校長と共に、山梨県の甲府市にある甲府基督教会に行ってきました。甲府基督教会では午前中は日曜礼拝がもたれました。日曜礼拝と聖会共に北野先生がメッセージを語られ、私達学生も先生のメッセージを聴くことができる恵みに預かりました。

日曜礼拝の中で神学生の奉仕は、学校紹介と一曲の特別賛美でした。そして北野校長の説教タイトルは「平和を実現するもの」(マタイ五章九節)でした。



終戦から七一年が過ぎ、現在でも世界中で様々な紛争があります。この時代に、主が人間に求めておられる「平和の実現」ということについて、それは「身近な存在の人と和解をする」ということを学びました。

午後からの甲信聖会での学生の奉仕は、学校紹介及び田辺神学生による献身の証でした。北野校長の聖会での説教は「聖霊の成熟を目指して」というテーマで、パウロの信仰と、ヨセフの生涯から、苦難の中における信仰の姿勢を学びました。

私は甲信ブロック聖会において、お二人の献身を考えている方々にお会いし、自身の献身の証を致しました。それをきっかけに、その二人の方と深い交わりの時を持つことができ、とても嬉しく有意義な時となりました。すべての恵みを主に感謝致します。



# ろう者聖書学校

ろう者聖書学校主任 郡 美矢

第二回ろう者聖書学校卒業式・第三回入学式が、全国ろう者聖会開催中の八月二日(金)午後三時より会場であるアパホテル名古屋錦エクセレントにて行われました。

ろう者によるろう者伝道が必需である、ろう者聖書学校が設立され、第一回目の卒業生を送り出してから約八年半が経ちました。献身者が続かず、やむなく休校せざるをえなかったのですが、全国の諸教会の先生方、兄弟の皆様の祈りとご支援に支えられて、二〇一三年に本教団におけるろう者の教職養成の道、ろう者のろう者によるろう者のためのろう者聖書学校が再開されました。運営形態やカリキュラム、入卒業の時期など、以前とは大きく様変わりしました。ろう者伝道を行っている教会を会場に、連休を利用して集中講義形式で授業を行い、講師は直接手話で教えるなど、学生たちも充実した学びをすることができたと思います。そうしてこの夏、ろう者聖会に出席した一七〇人の信徒たちと共に、卒業式、入学式が執り行われました。三年間の学びを終えた一人の卒業生、末森喜一郎師(広島基督教会)と堀尾美砂恵師(名古屋

屋神召キリスト教会)に、北野耕一校長より卒業証書が渡されました。続く入学式においては、新入生、古川忠志兄(阿南神召キリスト教会)の誓約が行われ、会場は歓喜につつまれました。全国ろう者聖会の講師である天野弘昌師(草加神召キリスト教会)によって「安心してくださいまいにち聖霊(聖書箇所ヨハネ一章三節〜四五節)」と題して奨励がなされました。

これから、卒業生はそれぞれの母教会で、ろう者伝道牧会の働きが始まりますが、主の尊い器として大いに用いられますようにお祈りするとともに、新たに加わった神学生も、ろう者の伝道牧会のために訓練され、将来のリーダーとしての研鑽を積むと共に、主の弟子として成長することを願っております。皆さまもまた覚えてお祈りください。

日本には約三十五万人のろう者がおります。

あなたがたは、『刈り入れ時が来るまでに、まだ四か月ある』と言っているではありませんか。さあ、わたしの言うことを聞きなさい。目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。(ヨハネ四章三三節)

まだ救われていない多くのろう者の魂の刈り取りのために、立ち上がり、献身するろう者が一人でも多く起こされるように、お祈りください。

の基本的リズムも大切です。

- ・毎日聖書を読む。(霊的な糧)
- ・毎日熱心に祈る。(霊的な呼吸)
- ・礼拝その他の教会生活を大切にすること。(霊的な家族の交わり)
- ・福音を人に伝える。(霊的な運動)

四月からは母教会(中村福音キリスト教会)が無牧になることを主の憐れみにより土佐清水キリスト教会の竹中牧師の兼牧となりました。主に感謝致します。

今、第一日曜日は清水の礼拝の奉仕、他の日曜日は四十教会派遣でお世話になっていきます。又、水曜日は清水の教会の祈禱会、木曜日は母教会の祈禱会に出席しています。五月から主管牧師の指導のもと家内の地元で月一回の家庭集會も始まり、数名の方々が導かれていることを感謝せずにはおられません。

「わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。――主の御告げ――それはわざわいではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」(エレミヤ書二九章一一節)



2016.2に行われたスクーリングの様子

## 通信科生の声

### 「主の計画の日々」

中村福音キリスト教会  
伝道者コース 松本 恭介

私は、五九歳で献身し、仕事と学びの二足の草鞋を履いた生活をしておりましたが、主の導きにより四〇年余り勤めた会社を退職し、四月からは教会の働きと学びの選択を致しました。

仕事を辞めて思ったことですが、教会の働きは多く、生活のリズムを大切にすることは、生活リズムとは、睡眠、食事等の日常生活のリズムですが、信仰生活



## 本科 秋期・冬期講師紹介

| 教師       | 科目               |
|----------|------------------|
| 荻野 倫夫    | 組織神学3、ギリシャ語2     |
| 北野・ジョイス  | 宣教学              |
| クリス・カーター | テサロニケ人への手紙、エペソ書  |
| 小石 臨     | 組織神学4            |
| 小泉 智     | ギリシャ語3           |
| 白石 信之    | 組織神学1、聖書解釈学      |
| 鈴木 正和    | ペンテコステ史、日本教会史    |
| 高見澤 栄子   | 世界宣教の潮流と課題       |
| 野川 悦子    | 実践神学             |
| 能城 一郎    | ICTと教会           |
| 長谷川 忠幸   | ヨシュア記            |
| 堀川 寛     | 説教2、ファミリーカウンセリング |
| 三上 友通    | 教会教育通論           |
| 三宅 規之    | 教会史1、キリスト教倫理     |
| ラウジー・満世  | ヘブル語1、2、3、エレミヤ書  |
| 和田 佳士    | 伝道実践、伝道・牧会の実際    |

## ～お知らせ～

7月より東京アーバーンチャーチの酒井朗子師が神学校の事務として勤めて下さることとなりました。朗子師の働きのために祈りいただければ幸いです。

8月中旬後援会主催により諸教会から多くの人たちがお集まり下さり、神学校の清掃をしてくださいました。皆様の心からの奉仕を感謝します。



2016年 全国ろう者聖会 in名古屋

### 「私の二〇一六年夏期派遣」

アッセンブリー新潟キリスト教会  
伝道者コース 十屋 さおり

主の尊い御名を賛美します。

この夏、神学生として初めての長期派遣を経験しました。長野県茅野市の諏訪シオンキリスト教会が受け入れて下さり、五週間に渡り、様々なことを学びました。多くのことを学びましたが、その中でも、先生方の魂に対する愛と配慮ある姿勢が一番心に残っています。

子ども達には、「あなたがたがいてくれて嬉しい。あなたが教会に来てくれて嬉しい。」と真正面から笑顔をもって伝えます。教会が誰にとっても温かい居場所となるように腐心されており、その姿勢に非常に感動しました。もちろん、子ども達だけでなく、大人に対しても同様です。先生方は丁寧に一人ひとりの話を傾け、心に寄り添っておられました。私も、どんな時でも愛を持って粘り強く魂に関わり続けていきたいと思っています。全てを導いて下さった主に、愛を持ってご指導下さった上原先生、ご夫妻、村上先生ご夫妻に、そして親しく交わってくださいました教会の皆様から感謝します。



献金による支えを心より  
感謝申し上げます



### ダビデの石授受金献金

【関東北東】中央福音教会【関東南西】武蔵野基督教教会【関西】尾崎基督教教会【四国】高知聖書教会、中村福音キリスト教会【九州】佐伯聖書キリスト教会

### 一般献金

天塚基督教教会、熊本聖書教会、神召キリスト教会、仙台グレースチャペル、中央聖書教会、東京陽光基督教教会、浜松北キリスト教会、町田聖書教会(オリーブバブル教団)、めぐみ福音キリスト教会

### 個人(敬称略)

内村義宣、北野耕一、坂口昌浩、谷本吉子、土屋潔、吉武胡敏、匿名